

## 令和2年度事業報告

自 令和2年4月 1日

至 令和3年3月31日

一般社団法人 松山宅建協会

### 1. 業界を取りまく環境と事業の概要

昨年は、コロナに始まりコロナで終わった1年でした。結果、流行語大賞も「3密」となりました。当初は「春になればインフルエンザのように収まるのではないか」等の楽観論もあり、東京オリンピックは開催できるものとして準備が進められましたが、コロナは収まるどころか勢いを増し、オリンピックの延期はもとより、あらゆるイベント、会合などに大きな影響を与えるなど、世界中でその猛威を振るってきました。コロナに対して有効で安全なワクチンや特効薬の開発がなされ、行き渡り、収束し、普通の生活が出来るよう心より願うものであります。

松山宅建協会の事業もコロナ禍によって様々な影響を受けました。多人数の集いが規制、自粛される中、会員研修、専取会員セミナー、親睦会（ビアガーデン・忘年会）等々、これまで当たり前のように実施していた事業は形を変えざるを得ず、また延期や中止となるなど大きなピンチとなりました。しかし、1回ではありますが、Web研修会を行いました。今後も有効活用し、ピンチをチャンスに出来るよう積極的に利用して行きたいと思えます。

愛媛県が平成26年から「空き家対策に関する検討会」を設置し松山市と共に対策に取り組んでおり、当協会も引き続き重点項目の一つとして、関係官庁との連絡の強化を進めております。

なお、新型コロナウイルスのため2年度から延期していた松山市役所都市整備部住宅課を窓口にしての「空き家対策に向けた連携と協働に関する協定書」を他団体とともに7月に調印しましたことをご報告しておきます。

本年度新規入会者数は19件（本店13・支店5・承継1）でした。また、退会者数は22件（退会21・承継1）で、会員数は502名と3件減少しております。今年度は昨年度に比べて入会者の方はほぼ倍増しておりますが、退会者の方も昨年より増えていますので、結果会員数は減少しております。令和3年度も新規入会者が増えることを期待しております。

## 2. 事業報告（重点項目）

（１） ホームページは、本年度は、所管であります流通センター運営委員会で検討し業者にも依頼して、次年度におきまして、リニューアルし充実させ活用出来るように対応してまいります。

（２） 宅建業法等関係法規の周知徹底につきましては、総務委員会が所管であります。今年度はコロナ禍で **Web** 研修会を１回のみ開催しました。また、松山宅建ニュースにて情報を発信しました。

（３） 関係官庁・関係団体への渉外活動と連携の強化につきましては、

① 松山市「松山市立地適正化及び交通網形成検討協議会」の委員と部会員として、一昨年度から引き続き就任しています。

② 松山市「空家対策に向けた連携と協働に関する協定書」を他団体とともに７月に調印しました。会員の皆様には、「空き家バンク協力店登録」を数十社協力していただき松山市と進めています。

（４） 組織力の強化

新規入会は、(一社)松山宅建協会として(公社)愛媛県宅建協会本部に協力しました。入会者が昨年より９件増えましたが、退会者も増えた結果、会員数は昨年度に比べ３件減少しました。

愛媛県全体での申し込み状況は、26年度は、全宅 23 件・全日 25 件、27年度は、全宅 37 件・全日 11 件、28年度は、全宅 31 件・全日 13 件、29年度は、全宅 37 件・全日 13 件、30年度は、全宅 35 件・全日 13 件、令和元年度は、全宅 22 件・全日 7 件、令和２年度は、全宅 23 件・全日 22 件（３月 15 日現在）となっております。

ここ近年の状況からみると今年度は、全日への入会が増えており、今後全日対策として、協会の組織及び事業内容の強化を主眼に実施してまいります。